



HAND IN HAND グループさん紹介

大分県要約筆記サークル「陽ざしの会」

黒メガネに白手袋。手にはドライパー？

いえいえ、かのルパンやゾロとは違います。マイナーながら13年、マジック片手に筆記しているグループ、それが大分県要約筆記サークル「陽ざしの会」です。

聴覚障害者のコミュニケーション手段といえば、多くの人は手話と思っているでしょう。しかし、手話の習得が困難な中途失聴者や難聴者も数多くいるのです。

そんな人たちのために「文字で筆記し、情報を伝えるのが要約筆記」です。会合や講演会などではOHPを使って筆記、個人的な場面では

ノートなどに筆記して話を伝えます。まだまだ認知度の低い「要約筆記」ですが、高齢化社会の進展に伴い、社会的ニーズも高まってきました。「太陽」の陽ざし(陽射し)で一隅を照らしたいの命名由来の如く、中途失聴者難聴者の社会参加の一助になるよう今後も研鑽していきたいと思っています。

DATE

正式名称：大分県要約筆記サークル「陽ざしの会」
 会員数：40名(うち男性3名)
 連絡先：代表 河野キヨ (Tel.543-8338)



グループの方ご一報を！

男女共同参画社会の制度や情報をお届けします。男女共生についてもっと知りたいというグループの方、下記の内容をご記入の上、是非ご一報ください。

- 1 グループ名
- 2 会員の人数
- 3 会の主旨・目的
- 4 活動内容
- 5 代表者名・住所・電話番号

編集後記

今回の情報誌Domain8号から市内全戸回覧となりました。この情報誌が市民の皆様との情報交換の場として利用され、市と皆様とが同じ考えにたつた、女性政策を推進していきたいと思えます。内容についての、ご意見・ご感想をお寄せ下さい。お待ちしております。

編集委員一同

the editor's notes

女性政策推進室 Tel 534-6111(内線1075) Fax 536-4044

ご利用下さい

BOOK

中村 正著 / 作品社



ドメスティック・バイオレンスと家族の病理 ～なぜ夫は、愛する家族を殴るのか？～

家庭内暴力、とくにドメスティック・バイオレンスに焦点をあて、家族という親密な関係性のなかで、なぜ暴力や虐待が発生するのかを考察し、加害の現実いかに向き合うのかという問題に迫る。

シヨングレイ著 / 大島清訳
三笠書局



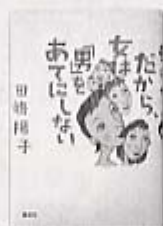
ベストパートナーになるために

この本はすべての女と男に捧げる「愛のエール」です！

私たちはしばしば、「どうせ女なんかに分かりやしないよ」とか、「所詮、男ですものねえ……」などと言う。

異性には、自分たちの気持ちなど分かりはしないと決めつけているわけである。そのくせ、その相手がどういう気持ちでいるかは何も考えない。同じ人間なのに、どうして女は(男は)自分たちと同じ気持ちにならないんだろうとボヤクだけなのである。この本は女と男の違いを一つひとつ指摘してゆく。

田嶋陽子著 / 講談社



だから、女は「男」をあてにしない

男は男になら決して言わないことを、女には平気で言う。特に女と男の問題を論じるとき、男は負けっぷりが悪い。

そういう男は私の周辺だけかと思っていたら、文化人と呼ばれる著名人やオピニオンリーダー格の男も例外ではなかった。やれ評論家だ、国際政治学者だ、アーティストだとか大層な看板を引っ掛けてはいても、こと女に関しては、みんな金太郎アメだとわかって、変に感心したりもした。田嶋流フェミニズム宣言。

女性政策推進室では、この他にも男女共同参画に関する図書・ビデオを無料で貸出しています。お気軽にご利用ください。